



本校 <http://www.akitahokuyou-h.akita-pref.ed.jp/>

SSH <https://ssh.jst.go.jp/>

## 〈タイ王国への派遣グループの決定！〉

本校のSSH事業では、2年生の課題研究のグループが秋田の教育資産を活用した海外交流促進事業に参加し、タイ王国で研究発表を中心とした交流を行っています。今年は、「ミミズとモグラの関係性」をテーマとしている2年A組のグループに決定しました。

### 【選考プロセス】

10月中旬における進捗状況報告を受けて、SSH推進部会にて以下の点から選考を行いました。

- ①設定したテーマが優れているか。
  - ・秋田北鷹高校としてのオリジナリティ
  - ・高校生らしさ(独創性)
  - ・社会的な意義 等
- ②研究の進め方は妥当か。
  - ・目的や仮説が系統立てて立てられているか
  - ・研究計画に無理はないか 等
- ③研究活動への取り組み状況
  - ・研究活動に意欲的か
  - ・特定の人に依存した研究になっていないか 等

### 【決定プロセス】

上記の観点に当てはまる研究グループとして、いくつかのグループが候補に挙がりました。その中から、「ミミズとモグラの関係性」をテーマにしたグループが選ばれた最大の理由は、

「モグラ」という動物に注目した経緯  
農業科の先生方からの情報をうまく引き出し、テーマとして設定した点。秋田北鷹高校ならではのテーマになりうる。

でした。もちろん、その他の視点でも優れているとの判断でした。選考されたグループのメンバーは、研究発表だけでなく、開発途上国特有の雰囲気、国民性に触れて、多くのことを学んできて欲しいと思います。

### 【全体を通じて】

選考対象となった2年生の課題研究について、農業科に比べて普通科の進み方が遅いという声がありました。いつもうまくいくとは限らないのが研究ですが、部活のない放課後などを利用するなど、常にペース配分を意識して取り組むようにしましょう。

## 〈第1回SSH講演会を開催しました(＃1)〉

第1回SSH講演会として「プレゼンテーションスキル」に関わる内容の講演を行いました。今回は、2年生の普通科探求・キャリアコースを対象に行われた講演会の様子を報告します。

### 【実施概要】

日時:平成30年10月31日(水)6校時  
 場所:大講堂  
 対象:普通科探求・キャリアコース(2年BCD組)  
 講師:小笠原 吉張 氏  
 (秋田職業能力開発短期大学校 教授)

### 【講演の様子】

小笠原先生からは、ポスターによるプレゼンテーションが映えるためのコツをご教示いただきました。フォントや行間、色の使い方によってポスターの見え方(印象)が変わってくるということについて参考になる具体例を示していただきました。また、ポスターの内容を理解してもらうためにも、データを図式化して示すことの有効性も教えていただきました。



### 【アンケート結果】

参加生徒のほとんどが講演の内容を理解し、12月の生徒発表大会に向けて有意義な内容であったと回答していました。この結果の通り、今回の講演の成果を十分発揮してもらいたいと思います。特に「目を引き見やすい発表資料」の作成と、「魅力的」と思わせるような発表態度を期待しています！

